

学校名	八幡町立八幡小学校
所在地	岐阜県郡上郡八幡町島谷 8
電 話	0 5 7 5 - 6 5 - 4 1 8 8

1. 本校の概要

本校は、八幡町の中心に位置し、百余年の長い歴史を有している。八幡町は、城下町として栄えてきた町で、郡上踊りをはじめとする歴史的な財産が多く残り、また、短歌・俳句などの文化的な活動も盛んに行われている。豊かな自然や文化、人々との温かいふれあいの中で、子どもたちは学んでいる。この人々との温かいふれあいを大切にしたいと、平成10年度から読み聞かせ活動を中心とした読書活動の充実を図っている。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

学校の教育目標「進んでやりぬく子」を受けて、図書館教育の目標を「進んで図書館を利用し、読書を楽しむ子どもを育てる」とし、「子ども一人一人の心に感動ややすらぎを与え、学習や生活の中に生きて働く図書館づくり」を目指して、図書館の運営に取り組んでいる。特に、学校の仲間、家庭、地域の人など、子どもを取り巻く人々による読み聞かせ活動を大切にして、読書意欲の喚起と読書習慣の定着を図っている。

読書環境の整備

子ども達が図書館に親しみやすらぎを感じられるように、また、学習や生活に役立つように、各種コーナー(畳のある「お話広場」、町内の折り紙名人の方に関わる「折り紙広場」など)やインターネットに接続できるコンピュータ、学年分館としてのミニ図書館などの設置に努めた。

主体性を育てる読書活動

毎週火曜日の朝の15分間を全校朝読書とし、本に親しむ時間としている。感動ややす

らぎを与え、読書意欲を喚起する活動として、人々とのふれあいを大切にし、心に響く本、心温まる本の読み聞かせを行っている。具体的には、保護者有志による各学年を対象とした月1回の「お話広場」、地域の読書サークルによる全クラスを対象とした各学期毎の「お話聞こう会」、図書委員による「紙芝居の会」等を計画的に実践している。

読み聞かせ活動の様子



(2) 家庭との連携、地域との連携

- ・親子の心の交流や、読書習慣の定着をねらいとして、親子で同じ本を読み合うファミリー読書を各学期毎に位置付けている。
- ・図書館を地域の人にも開放したり、本のリサイクルによって地域の方から図書を頂いたりしている。
- ・「地域の名人さんとのふれあい」として、折り紙の先生の本や作品を展示したり、折り紙体験ができるようにしたりしている。
- ・町立図書館との連携によって、町立図書館の蔵書を必要に応じて借り入れている。

3. 成果と今後の課題

- (1) 気軽に図書館に来て、調べ学習をするなど、積極的に利用しようとする姿が見られるようになった。
- (2) 町立図書館の図書や紙芝居を借りてきて紹介した後、自分から進んで町立図書館を活用する姿が見られるようになってきた。
- (3) 保護者や地域の人に読書の意義を発信し、地域ぐるみで読書に親しむ子を育てる取組をいっそう推進していきたい。